

私の趣味

平成28年10月

趣味は？と聞かれ始めた時から一貫して「読書」と言ってきました。今も傍から本は離せません。特に電車に乗り時忘れたら大変です、パニックになりそうです。

子どもの頃から外遊びよりも本を読むのが好きでした、小学校の時は月刊誌小学〇年生、貸本屋からは漫画、高校時代は図書館に毎日通っていました。卒業までに岩波文庫を全部読みたいと思っていました。(勉強は嫌いでした)

北海道に住んでいた時は神戸にいた叔父が司馬遼太郎の本が発行されるとすぐ送ってくれました。今は二人の子供が読み終わると置いてくれます。二人の読む種類は違うので楽しいです。サークルの仲間にも本好きがいて回し読みをします。こちらの種類は多種です。本を買う事が無いので安上がり趣味です。最近は読む傍から内容を忘れていきます。1冊を読み上げる時間も懸かります。字も見えにくくなりました。何時まで趣味は読書と言えるでしょうか？

もう一つの趣味はお琴の合奏です。生まれた時から「歌わない子供」だった様です。音のない生活を心配して親はピアノを習わせようとしたそうですが、先生がいない。そこにお琴の先生が見つかったそうで小学5年生から習い始めましたが、音痴であることを知っている私はただお稽古に通っているだけでした。教えがいのない弟子だったと思います。一応止めもせず、結婚し転勤するまで続けていました。入間市に来て28年ぶりに公民館のサークルへ入部しました。若い先生なので現代の曲が多く、古典を優雅に(?)弾いていた娘時代と違い戸惑ってばかりでした。勤めながらのお稽古ですから必死でした。でも小さい頃の糸の感覚は残っていたようでなんとかいついけました。そして合奏が楽しくなりました。還暦のお祝いに子供たちに17弦を買って貰いました。嬉しかったです。必死で練習しました。今サークルで17弦は殆ど私が担当しています。速い曲や難しい曲は大変ですが練習のしがいがあります。ただ大きいのと重いので運ぶのに困るようになりました。サークルの練習には困りませんが演奏会となると苦勞します。今のところは子供もお琴を始めたので運んでくれます。子どもが側にいる間は楽しみたいと思います。歌う事は出来ませんが音の世界も楽しんでます。両親に感謝です。

今井 須賀子(所沢市在住・大洲市出身)